

【ユニット】 臨床推論

【ユニットディレクター】

UD：柴崎 智美（医学教育学）

UD 補佐：永島 雅文（解剖学） 佐々木 貴浩（国七 脳神経内科・脳卒中内科） 中平 健祐（教養教育） 高野 和敬（解剖学） 齋藤 恵（医学教育センター） 杉山 智江（医学教育センター） 三輪 尚史（生理学） 日詰 光治（中研・RI 部門） 杉浦 由佳（医学教育センター） 森 茂久（医学教育学） 黒崎 亮（国七 婦人科腫瘍科）

【一般的な目標】

医療の実践において問題解決の筋道を考える力である臨床推論能力を養うために、症例を通して、推論の基本を修得する。

2年生では、人体の構造と機能2コースや病気の基礎1コースでの学習を踏まえて、根拠に基づき考え、課題を解決することを目指す。

【具体的な目標】

1. 症例の問題点を抽出・整理することができる。
2. 整理した問題点全体を矛盾なく説明可能な病態生理をできるだけ多く推測することができる。
3. 病態生理の説明のために不足した情報を収集することができる。
4. 収集した情報を推測した病態に関連させて説明できる。
5. 推論した病態生理それぞれの可能性の大きさを推論できる。
6. グループの討論によって情報を整理・統合し、結論を導き出すことができる。

【学習方法】

講義およびスモールグループ学習（1グループ7～8名）

*スモールグループ学習の際に、授業によりカタロスタワー7階コンシリウムホールで行う場合と、カタロスタワー6階ゼミ室で行う場合がある。

*ゼミ室でのスモールグループ学習において、チュータの配置が有る場合と無い場合がある。

症例で示された医療情報から問題点を抽出し、それまでに学習した人体の正常機能・構造のどこが障害されるとその問題が発生するのか、病態生理を考え提示された課題を解決する。その際、答えを見つけることが目標ではなく、教科書や講義のレジメなどの参考資料から、なぜそのようなことが起こったのかを各自あるいはグループで検討し、根拠とともに説明出来ることを重視している。

授業の際には、教科書「内科診断学」（電子版も可）を必ず持参すること。

質問等には、授業時間に加えオフィスアワーにも受け付ける。

【評価方法】

本ユニットは良医になることを目指して、授業に参加し、課題に取り組むことを求めている。そのため、医師を目指す医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合には、評価の対象とせず、不合格とする。

教員の評価・提出物の評価・出席状況を総合して評価する。

本ユニットが評価を担当するマイルストーンについては、チュータによる評価やピア評価によって評価する。不合格となった場合には補習を行い再評価する。

自ら全く考えずAIが課題を解決したと考えられるレポートを提出した場合には、評価の対象とならない場合がある。AIの具体的な使用ルールについては、オリエンテーションまたは課題毎に指示をする。

【教科書】

- ◆ 内科診断学（医学書院）第4版

【参考書】

- ◆ 臨床推論 EBMと病態生理から症例を考える 基礎臨床技能シリーズ4, 編集:後藤英司, メジカルビュー社
- ◆ 症候からたどる鑑別診断 ロジカルシンキング, 編集:後藤英司他, メジカルビュー社
- ◆ 診察ができる vol.2 鑑別診断 第1版 医療情報科学研究所 編
- ◆ 各課題に添付したリソースリストを参照すること。

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
臨推1	08月25日	(火)	4	オリエンテーション, 講義	柴崎 (医学教育学) 森 (医学教育学) 三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C)
臨推2	08月25日	(火)	5	オリエンテーション, 演習	柴崎 (医学教育学) 森 (医学教育学) 三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C)
臨推3	08月26日	(水)	1	課題1	森 (医学教育学) 三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
臨推4	08月26日	(水)	2	課題1	森 (医学教育学) 三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
臨推5	09月02日	(水)	1	課題1	三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 森 (医学教育学) 柴崎 (医学教育学)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
臨推6	09月02日	(水)	2	課題1	三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 森 (医学教育学) 柴崎 (医学教育学)
臨推7	09月09日	(水)	1	課題1	三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 森 (医学教育学) 柴崎 (医学教育学)
臨推8	09月09日	(水)	2	課題1	三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 森 (医学教育学) 柴崎 (医学教育学)
臨推9	09月16日	(水)	1	課題2	高野 (解剖学) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 永島 (解剖学) 杉浦 (医学教育C)
臨推10	09月16日	(水)	2	課題2	高野 (解剖学) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 永島 (解剖学) 杉浦 (医学教育C)
臨推11	09月30日	(水)	1	課題2	高野 (解剖学) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 永島 (解剖学) 杉浦 (医学教育C)
臨推12	09月30日	(水)	2	課題2	高野 (解剖学) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 永島 (解剖学) 杉浦 (医学教育C)
臨推13	10月15日	(木)	4	課題3	中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 佐々木 (脳神経内科) 日詰 (中研・RI) 杉浦 (医学教育C) 森 (医学教育学) 柴崎 (医学教育学)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
臨推14	10月15日	(木)	5	課題3	中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 佐々木 (脳神経内科) 日詰 (中研・RI) 杉浦 (医学教育C) 森 (医学教育学) 柴崎 (医学教育学)
臨推15	10月15日	(木)	6	課題3	中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 佐々木 (脳神経内科) 日詰 (中研・RI) 杉浦 (医学教育C) 森 (医学教育学) 柴崎 (医学教育学)
臨推16	12月14日	(月)	1	課題4	森 (医学教育学) 三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
臨推17	12月14日	(月)	2	課題4	森 (医学教育学) 三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
臨推18	12月14日	(月)	3	課題4	森 (医学教育学) 三輪 (生理学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 柴崎 (医学教育学)
臨推19	01月07日	(木)	4	課題5	森 (医学教育学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐々木 (脳神経内科) 柴崎 (医学教育学)
臨推20	01月07日	(木)	5	課題5	森 (医学教育学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐々木 (脳神経内科) 柴崎 (医学教育学)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
臨推21	01月07日	(木)	6	課題5	森 (医学教育学) 中平 (教養教育) 杉山 (医学教育C) 齋藤 (医学教育C) 杉浦 (医学教育C) 佐々木 (脳神経内科) 柴崎 (医学教育学)

【備考】

「モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂版対応」

GE-01-01-03 基本的なフレームワーク（頻度・重症度・緊急度、解剖学的アプローチ、病態生理学的アプローチ、二重過程理論、事前確率等）を用いて臨床推論を行うことができる。

GE-01-01-04 主訴に応じて、必要な医療面接・身体診察・検査を実施できる。

CS-02-02-01 主要症候(表5)について原因と病態生理を理解している。

CS-02-02-02 主要症候(表5)について鑑別診断を検討し、診断の要点を説明できる。